

2021
8
(毎月15日発行)



みなみ

市民しんぶん南区版

南区総人口：101,913人

世帯数：50,924世帯

令和3年7月1日現在(推計人口)

ホームページ 京都市南区役所 検索

未来へつなぐ南区の伝統文化と芸術

世界遺産・東寺のある南区には古くから現在まで、地域で大切に継承されてきた伝統芸能があります。また、文化芸術による新たなまちづくりも進められ、デジタルアートの拠点が誕生しようとしています。新たな個性と古くからの魅力にあふれた南区の文化芸術に触れてみませんか。

平安時代から続く伝統芸能 六斎念仏



京都の民俗芸能である六斎念仏は、南区でも上鳥羽、吉祥院、久世において、今日まで伝承されています。南区に伝わる六斎念仏は、平安時代に空也上人によって松尾大社で始められたという伝承をもつ「空也堂系」の六斎念仏です。

古来の法要や儀礼の性格を残した念仏などの詠いを中心とする「念仏六斎」と近世の流行芸能や、獅子舞などを六斎風にアレンジした「芸能六斎」という大きく形式の異なる2つの六斎念仏が伝わっています。

六斎念仏は、楽譜があるわけではなく、人から人へ伝えていく必要があります。

地域の行事を中心に活動を行い、また小学校の総合学習の時間を通して地域の子どもたちに文化を継承しています。

六斎念仏の
オリジナル
トラフィカ
京カード
をプレゼント!

詳しくは
2面へ。



南区広報キャラクター
ナンナン

上鳥羽六斎念仏 (念仏六斎のみ・芸能六斎は中止)

日時・8月22日(日) 19:00 ~ / 場所・浄禅寺 (上鳥羽若ノ本町)

◇市バス(18号系統)「地蔵前」から東へ徒歩1分

☎=熊田代表 (☎ 202-7133)

吉祥院六斎念仏 (芸能六斎)

毎年8月25日に吉祥院天満宮で行われていますが、今年は中止となりました。

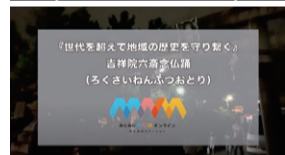
久世六斎念仏 (芸能六斎)

毎年8月31日に蔵王堂光福寺で行われていますが、今年は中止となりました。

動画でも六斎念仏を楽しもう!

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止される地域もありますが、昨年12月に行われた「みなみな六斎念仏」では、南区の3団体が一堂に会し各地域で伝わる演目を披露されました。

また、次世代への六斎念仏の継承について、迫力ある「獅子と土蜘蛛」の映像とともに吉祥院六斎念仏の踊り手・村田さんに話していただいている動画もありますので、どうぞご覧ください。



東九条で進む文化芸術のまちづくり

京都市では、平成29年3月に「京都駅東南部エリア活性化方針」を策定し、「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりを進めています。

同エリアの市有地(約6,600㎡)において、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」施設の設置・運営事業者を公募型プロポーザルにより募集し、令和3年3月に「京都駅東南部エリアプロジェクト有限責任事業組合(代表: チームラボ)」を契約候補者として選定、6月に基本協定を締結しました。

同事業組合からは、アートミュージアムやアートセンター、市民ギャラリーなどの複合施設の設置が提案されており、今後、事業計画など具体的な協議が進められます。



☎=市・プロジェクト推進室(☎ 222-3984) / 市・すまいまちづくり課(☎ 222-3663)

「チームラボ 東寺 光の祭 - TOKIOインカラミ」開催中

8月 6日(金)
~9月 19日(日)

デジタルテクノロジーによるアートの展示会を世界各地で開催しているアート集団「チームラボ」の手によって世界遺産の東寺が光のアート空間へ!

チケット料金など詳細は
公式サイトをご確認ください



☎=チームラボ 東寺 光の祭 公演事務局(☎ 0570-200-883)